

ずいひつ No.118

2016年4月25日発行



《春がやってきました》

4月と言えば新学期です。新しい学校や職場、クラスなどで「はじめまして」を言う機会が何かと多い時期ですね。寒さも和らいで、新たな出会いもあって、なんだかワクワクしますね！そんな一方で、たくさん咲いた花々やスギ、ヒノキなどのせいで花粉症が辛い！なんて方も多いのではないのでしょうか。



《花粉症と歯の意外な関係》

春になると上の奥歯がなんとなく痛くなる…なんてことはありませんか？「咬むと痛い」「歩いたり走ったりすると響く感じがする」。実はそれ、花粉症が原因かもしれません！そんなわけで今回は、花粉症と歯の意外な関係についてお話ししようと思います。



鼻の両脇、上の奥歯の根元のあたり、上あごの骨の中に「上顎洞（じょうがくどう）」という空洞があります。花粉症や風邪などによる強い鼻炎が起きると、その上顎洞の内側の粘膜が炎症を起こしてしまい、粘膜が腫れたり、中に鼻汁が溜まったりして、空洞の中が充満してしまいます。これを「上顎洞炎」といいます。その場所が上の奥歯の根っこに近いので、虫歯でもないのに奥歯が痛い、という現象が起こるのだそうです。よって、鼻炎の治療を行って症状が和らげば歯の痛みも自然と治まるかもしれません。



またその逆で、虫歯や歯周病を放置すると、歯の根元から上顎洞に細菌が入り、歯の根の周辺が化膿して、「副鼻腔炎」を引き起こすこともあるそうです。これを「歯性上顎洞炎」といいます。これは歯に原因があるので、耳鼻科の治療だけではなく、抜歯をしたり歯の根の治療をしないと治らないこともあるそうです。

どちらにせよ歯医者さんに行けば原因を突き止める事が出来ます。歯が痛いな、と思ったらすぐに歯医者さんに相談しましょう。

参照：花粉症と歯の痛み | 横浜 歯医者/歯科 | 村田歯科医院



図書館には、歯に関する本はもちろんのこと、花粉症に関する本もたくさん置いてあります。たくさん知識を深めて、花粉症の対策もばっちりして、春を満喫したいですね！

↓↓図書館にはこんな本があります↓↓

『実践口腔内科 口の中から体調不良の原因を探る！』【著者】清水英寿 【請求記号】497.2/Wa

『有病者歯科 全身疾患 VS 歯科治療』【編者】和気裕之／[ほか] 【請求記号】497.2/Sh